

信号変換基板

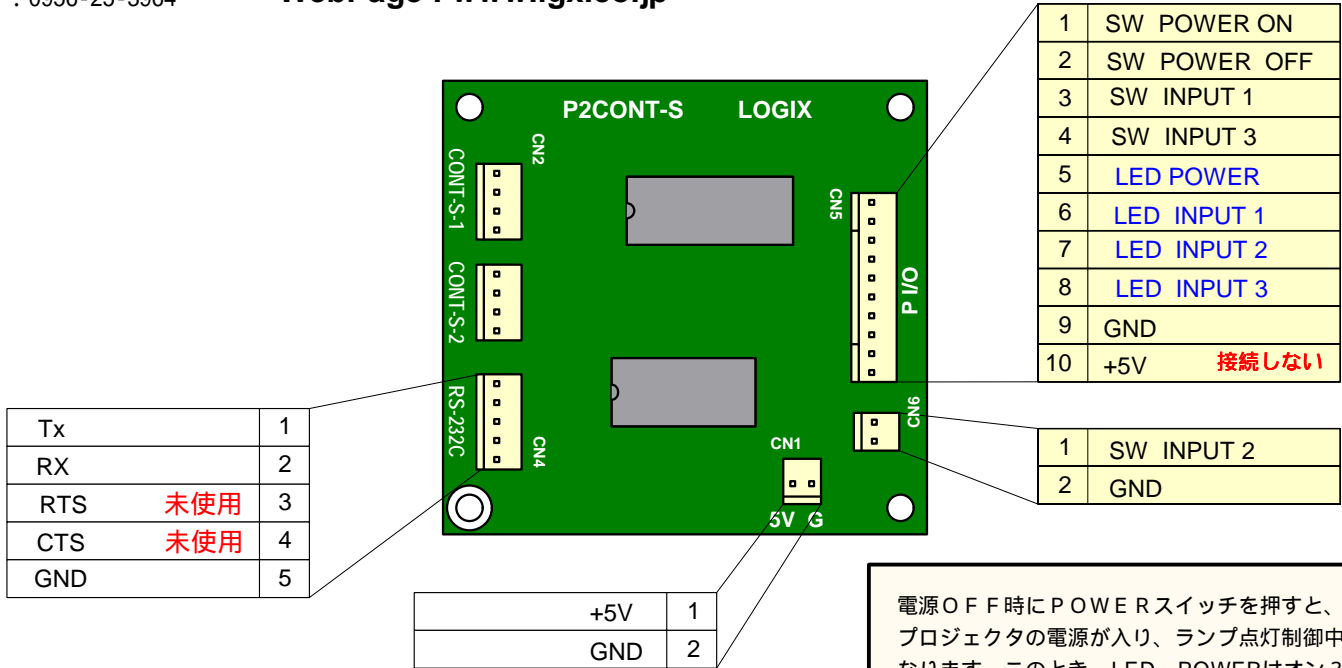
取扱説明書

接点 RS232C
SANYO プロジェクタ用 (XF30,XT16S)

(有)ロジックス

857-0055
長崎県佐世保市湊町2-15 E-mail : logix@lgx.co.jp
電話 : 0956-25-3963 WebPage : www.lgx.co.jp
FAX : 0956-25-3964

この変換基板は基板上の1チップマイコンのプログラムを調整することで、その機能を実現しています。入出力の様子は下記のとおりです。電源、および信号の極性には十分注意して配線してください。注意点として、接点入力の信号線の長さは1M以内(できるだけ短く)、RS-232C信号は15M以内で使用してください。この長さは使用する環境により、左右されます。

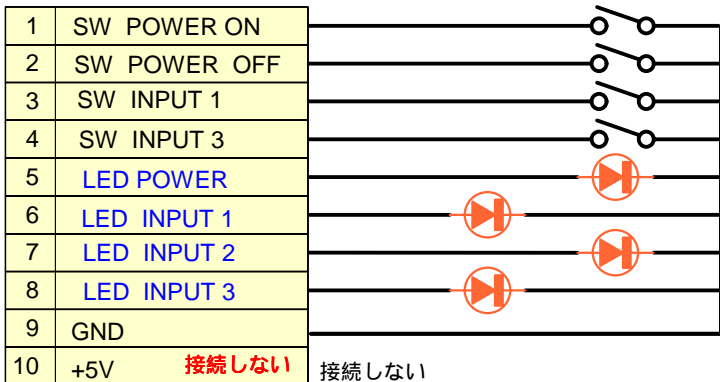


CN1 : 電源入力 安定化されたDC 5Vを入力します (消費電力: DC5V 50mA以下)

CN4 : RS-232C入出力

Tx	1
Rx	2
	接続しない 3
	接続しない 4
GND	5

CN5 : パラレルコントロール入力



電源OFF時にPOWERスイッチを押すと、プロジェクタの電源が入り、ランプ点灯制御になります。このとき、LED-POWERはオン3、オフ1の割合で点滅します。この期間すべての入力は無効になります。

電源オン時、POWERスイッチを押すと、消灯制御に移ります。消灯制御中は、LED-POWERが1対1の割合で点滅します。この期間すべての入力は無効になります。

電源オフへの移行時、今まで点灯していた入力ポジションランプはすべて消灯します。

電源オン時、入力切換スイッチ (INPUT-1, INPUT-2, INPUT-3) を押すとプロジェクタは対応する入力に切り替わります。このとき対応するLEDも切り替わり点灯します。

入力ポジションのLEDはプロジェクタの状態を反映しているわけではなく、最後に押されたスイッチの状態を示しています。

電源オフ時は入力切換は機能しません。

これらの端子をGNDに接続すると、該当するRS-232Cコマンドが出力されます。この信号はグラウンドにショートした瞬間、出力されます。同時に複数選択することは禁止です。

